

2023年6月27日

1. 基本情報

- (1) 国名：タンザニア連合共和国（以下、「タンザニア」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：タンザニア全土
- (3) 案件名：農業・農村開発ツーステップローン計画（Agriculture and Rural Development Two Step Loan Project）
- (4) 計画の要約：本計画は、タンザニア農業開発銀行（Tanzania Agriculture Development Bank、以下、「TADB」という。）への中長期資金供給を通じた農家等へのツーステップローン供与及び TADB への能力向上支援を実施することにより、タンザニアの農業・農村開発金融に係る金融仲介機能の円滑化及び農家の生産性向上を図り、農業・農村セクターの産業化・商業化に資するのみならず、タンザニア国内の食料安全保障に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性**(1) 本計画を実施する外交的意義**

タンザニアは、インド亜大陸及び中東アラブ世界とサブサハラ・アフリカをつなぐ重要な位置にあり、東アフリカ地域の安定にも大きな役割を果たしてきており、健全な外交方針と安定した内政の下、国際場裡及び二国間関係で我が国と良好な協力関係を維持している。

同国はサブサハラ・アフリカ地域有数の農業国であり域内食料安全保障に果たす役割も大きいものの、農業生産性が低いため、生産性向上のための機械化や灌漑整備の拡大などが課題となっている。本計画の実施により、同国における農業の機械化促進や生産の向上、農家の収入増などが期待され、TICAD 8 「チュニス宣言」の柱「持続可能な経済成長と発展のための構造転換の実現」のうち「食料安全保障・栄養の改善。持続可能な農業。食料システム及びバリューチェーンの支援」にも資する。

(2) 当該国における農業セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

タンザニアの農業は、総就業人口の約 65% (2019 年、世界銀行)、GDP の約 26% (2021 年、世界銀行)、全輸出製品の約 31% (2021 年、世界銀行) を占める基幹産業である。また、タンザニアはサブサハラ・アフリカ地域有数の農業国であり、東アフリカ共同体域内へのコメ等を輸出する等、域内食料安全保障に果たす役割が大きい。しかし、農業従事者一人当たりの付加価値（労働生産性を示す指標）は 868USD と世界平均 (4,035USD) 並びに近隣国であるケニア (1,795USD) よりも低い (2019 年、世界銀行)。背景に世界平均を下回る低い農業生産性があり、効率的な生産を行うための機械化、灌漑整備状況の拡大が求められている。

これに対しタンザニア政府は、2017/18 年度から 10 年間の農業セクター開発プログラムフェーズ 2 を策定し、商業化、農業生産性及び農家収入向上に向けた変革に

取り組んでいるものの、農業機械を利用する世帯の増加や農業金融の融資割合の向上などが課題となっている。この理由として、農業分野への融資は不確実性が高く、リスク管理が適切に行えないことから、高い金利が設定され農家の資金調達が難しいことが挙げられる。タンザニア政府は、こうした課題を解決すべく、2012年に農業金融のバリューチェーンを強化し、農家向け融資を促進するため財務省傘下の政府系金融機関としてTADBを設立した。

農業・農村開発ツーステップローン計画（以下、「本計画」という。）は、TADBへの中長期資金供与を通じた農業設備投資を促すことで農家の生産性向上を目指すもの。

3. 計画概要

*協力準備調査の結果変更されることがあります。

（1）計画概要

① 計画内容

- ア) ツーステップローン：小規模農家・農家グループ・農業関連企業向け融資
- イ) コンサルティング・サービス（ショートリスト方式）

② 期待される開発効果

農業機械購入における新規サブローン累計融資件数の増加（約1,700件の増加）。また、タンザニア全土を対象候補としており、機械化を進めることによりタンザニア農業従事人口約19百万人に裨益、生産性向上に寄与する。

③ 借入人（円借款の場合）

タンザニア政府

④ 計画実施機関／実施体制

タンザニア農業開発銀行（TADB）

⑤ 他機関との連携・役割分担

フランス開発庁が同様の融資事業を実施していることから、同事業での経験・教訓を確認・活用する。

⑥ 運営／維持管理体制

TADBが本計画の運営を担うと共に、本計画参加金融機関を選定し、円借款資金を転貸、同行及び選定された参加金融機関がJICA資金及び転貸資金を元にエンドユーザーに融資を実施する。詳細は調査にて決定する。

（2）その他特記事項

- 環境社会配慮力カテゴリー分類：FI
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

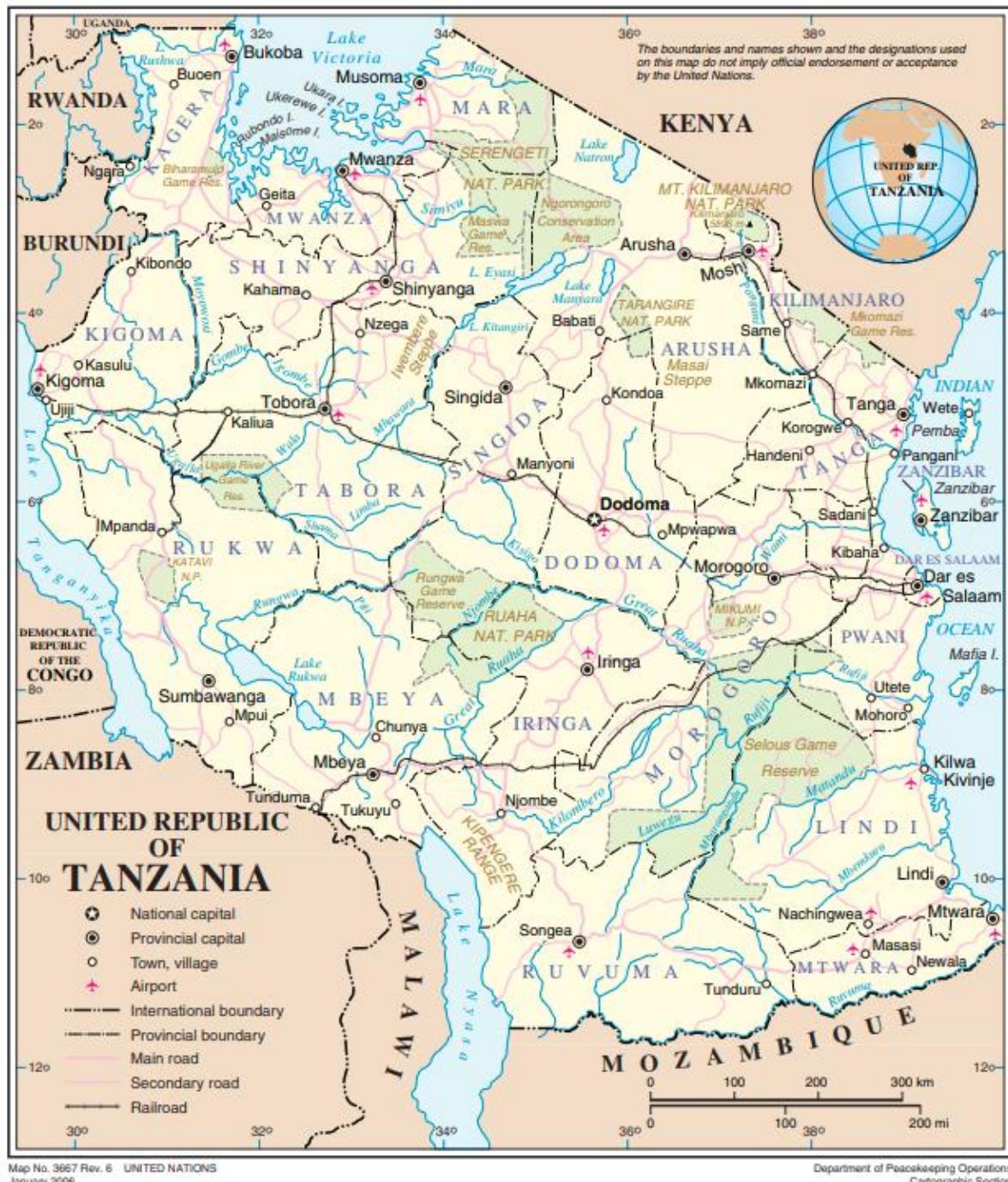
4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

バングラデシュ人民共和国向け「中小企業振興金融セクター事業」の事後評価（2020年度）から、事業完了後もリボルビングファンドを通じてエンドユーザー向け融資が行われる場合には、事業完了後に融資条件の更新ができる体制を確保することが望ましいとの教訓が得られている。本計画においても、エンドユーザー向け融資に対し、融資金額上限額を設定することで、より多くの小規模農家向けに資金が融通されるよう配慮する想定。

以 上

[別添資料] 地図

地図 タンザニア全土

出典：[United Nations](#)